

西宮市立郷土資料館報

平成 29 年度 (2017)

目 次

- I 西宮市立郷土資料館の運営● p. 1
 - 1 常設展示○ p. 1
 - 2 特別展示○ p. 7
 - 3 今月のアラカルト○ p. 7
 - 4 指定文化財公開○ p. 8
 - 5 教育普及○ p. 9
 - 6 共催・後援事業○ p. 12
 - 7 資料の収集・保存・調査・研究○ p. 16
 - 8 文化財調査ボランティア○ p. 18
- II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営● p. 20
 - 1 平成 29 年度利用状況○ p. 20
 - 2 教育普及○ p. 23
- III 西宮市立郷土資料館条例および施行規則● p. 25

I 西宮市立郷土資料館の運営

1. 常設展示（平成30年3月31日現在）

西宮の歴史をテーマに郷土のあゆみを実物資料・模型・ジオラマ・パネルなどによって視覚的・立体的に構成し、郷土の歴史・文化に関する知識と理解を深めることができるように展示した。

常設展示資料数：406点（実物 224点／複製 9点／模型 4点／ジオラマ 1点／パネル 83点／子ども向けパネル 15点／図 7点／写真 59点／年表 4点）

(1) テーマ 西宮の歴史 西宮の歴史を概観し、その発展の過程を理解する。

(2) 展示

i わたくしたちのまち にしのみや

現在の西宮を代表する景観を写真で紹介する。

<パネル>甲山（名勝地）／甲陽園目神山地区／教行寺太鼓楼／蓬莱峡（名勝地）／名次山（名勝地）／武田尾温泉（名勝地）／生瀬地区のだんじり／武庫大橋／西宮神社苑池（名勝地）／徳川大坂城東六甲採石場／漢織呉織伝承地（名勝地）／宮水地帯／御前浜（名勝地）／常夜灯型道標と西国街道／甲山八十八ヶ所

ii 西宮の地形

市域の地勢を地形模型で紹介する。

<模型>1万分の1地形模型

iii 西宮の文化財

市内の国・県・市指定文化財を写真で紹介する。

<パネル>神戸女学院／西宮神社嘉永橋／西宮神社瑞寶橋／西宮砲台／老松古墳／高畑町遺跡出土木製品／桜戸雑話／昌林寺阿弥陀像・観音像・勢至像／考古小録／西宮市の文化財一覧／慶長十年撰津国絵図／海清寺三門／松山大学温山記念会館／旧山本家住宅／クスノキ

自然史

西宮地方の成り立ちを自然史の分野から概観する。

1 西宮の基盤

<実物>神戸層群の珪化木／有馬層群・流紋岩／甲山安山岩／六甲カコウ岩／丹波層群

<パネル>広い海の時代／火の海列島時代／甲山の誕生・神戸層群

2 西宮の誕生 I

<実物>神戸層群の植物化石／ラリックス層の植物化石（イラモミ／メタセコイヤ／チョウセンゴヨウ／エゴノキ／シリプトビシ）／アカシゾウの牙／満池谷層の植物遺体包含層剥ぎ取り標本

<パネル>寒冷な時代／温暖な時代／マチカネワニ／アカシゾウ

3 西宮の誕生 II

<実物>沖積層／中位段丘の礫層／高位段丘の赤色泥／アズキ火山灰／大阪層群／丹波層群

<パネル>六甲山地の形成／航空写真／高位段丘／中位段丘／六甲山東麓から尼崎平野断面図

原始

原始・古代の人々の生活を考古資料によって概観する。

<年表>先土器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代

<図>先土器時代地図／縄文時代遺跡分布図／弥生時代遺跡分布図（西撰）／古墳分布図（西撰）

<写真>西宮市苦楽園六番町出土ナイフ形石器／芦屋市岩ヶ平出土ナイフ形石器／宝塚市出土有舌尖頭器／芦屋市朝日ヶ丘遺跡出土石器／大阪市森の宮遺跡貝層／大阪市長原遺跡出土縄文土器／尼崎市田能遺跡出土弥生土器／芦屋市会下山遺跡遠景／西宮市津門出土銅鐸／宝塚市中山出土銅鐸／芦屋市会下山遺跡出土鉄器／宝塚市安倉古墳出土鏡／宝塚市万籟山古墳竪穴式石室／神戸市五色塚古墳／西宮市越水山遺跡竪穴住居跡／西宮市関西学院構内古墳／宝塚市白鳥塚家形石棺／宝塚市中山荘園古墳

4 稲作のはじまり

<実物>仁川高台遺跡出土遺物 6点／甲子園口遺跡出土遺物 3点／越水山遺跡出土遺物 3点

<複製>津門出土の銅鐸／銅戈

<パネル>弥生時代の集落／箕面市如意谷出土銅鐸／弥生時代の水田・石庖丁／青銅器出土地／越水山遺跡の竪穴住居・越水山遺跡の竪穴住居の炉跡／弥生時代竪穴住居内部推定図／銅鐸の鋳造

<こども向けパネル>いしぼうちょう／どうか

5 古墳文化の拡大 I

<実物>具足塚古墳出土遺物 48点

<パネル>具足塚古墳石室／具足塚古墳石室内部／具足塚古墳／関西学院構内古墳／関西学院構内古墳石室実測図／上ヶ原台地北半部の古墳

6 古墳文化の拡大 II

<実物>八十塚古墳群出土遺物 46点

<パネル>八十塚古墳群古墳位置図／八十塚古墳群／老松3号墳石室・苦楽園五番町5号墳石室／古墳から出土する須恵器

<こども向けパネル>みみかざり

古代・中世

社寺の文化遺産と地域との関わりを歴史のながれの中で概観する。

<年表>

<写真>複弁蓮華文軒丸瓦（神呪寺）／木造如意輪観音坐像（神呪寺）／木造不動明王坐像（神呪寺）／淨橋寺梵鐘／善恵上人伝絵（淨橋寺）／虎関師鍊画像（茂松寺）／極楽寺弥陀石仏／淨橋寺石造五輪卒塔婆／淨橋寺石造五輪塔／西宮神社大練塀／公智神社神輿殿

7 神社仏閣が語るもの I

<複製>善恵上人伝絵

<パネル>公智神社神輿殿／西宮神社大練塀

8 神社仏閣が語るもの II

<実物>笠塔婆／石造五輪塔

<複製>弥陀石仏（極楽寺）

<パネル>宝篋印塔（西方寺）／石造五輪塔（淨橋寺）／石造七重塔（鷲林寺）

近世

江戸時代の西宮地方で発達した産業・交通・文化の特質を概観する。

<年表>

<写真>西宮神社表大門／摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図（浄橋寺）／上総九十九里地引綱大漁獵正写之図／酒づくり風景（「摂津名所図会」）／耕織図屏風／菱垣新綿番船川口出帆之図／新酒番船入津繁栄図／摂州名塩村の紙漉図（「筑紫紀行」）／西宮宿（「山崎通分間延絵図」）／越木岩神社のおかげ踊り図絵馬（越木岩神社）／今津灯台／摂海に入ったロシア軍艦ジアナ号／豊饒御蔭参之図

9 農・漁業の発達

<実物>上総九十九里地引綱大漁獵正写之図／山海名産圖会 3点

<パネル>地曳き網の図

10 西宮・今津の酒造り

<実物>酒造道具の図を集めた本／名酒づくし／新撰銘酒寿語録

<複製>酒株札

<パネル>酒づくり風景（「摂津名所図会」）／酒造史年表／摂泉十二郷の地域図

<こども向けパネル>さけかぶふだ

11 名塩紙

<実物>青箔下間似合／カブタ土／玉子間似合／尼子土／銀箔打原紙／蛇豆土／箔下間似合／東久保土／漉舟株札／藩札 13点

<パネル>名塩の紙ができるまで／雁皮紙（泥土入）電子顕微鏡写真／純雁皮紙（生漉）電子顕微鏡写真／名塩の紙漉場

<ジオラマ>名塩の紙漉場

<こども向けパネル>なじおの土／はんさつ

12 西宮宿

<複製>行程記

<パネル>西宮の町場

<図>西宮宿之図

13 生瀬宿

<複製>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図

<パネル>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図解説

<模型>生瀬宿の町並み（30分の1）

<図>生瀬宿之図

14 灘酒の海上輸送と樽廻船

<実物>和磁石 5点／新酒番船入津繁栄図／船鑑札／新酒番船一番の杯／入船祝はっぴ

<複製>新酒番船一番札／鳥羽日和山方角石

<模型>樽廻船（20分の1）／今津灯台（10分の1）

<パネル>常夜灯／近世末期における主要航路図／輸送比較表／樽廻船（弁財船づくり）各部名称図

<こども向けパネル>たるかいせん／わじしゃく／さかづき／はっぴ

民俗

15～17 西宮の米づくりと年中行事

<実物>くわ/すき/田植え杵/まぐわ/草取り器/がんづめ 2点/鎌 2点/千歯こき/万石通し/ふるい/箕/唐箕

<パネル>西宮の米づくりと年中行事

<こども向けパネル>まぐわ/がんづめ/とうみ

近・現代

産業・交通における近代化の状況と明治時代後半期から第2次世界大戦までの学校教育を資料や教科書から概観する。

<年表>

<写真>大阪-神戸間の鉄道時刻表・運賃表/武庫郡今津学校ノ図/旧辰馬喜十郎住宅/旧辰馬喜十郎酒蔵/阪神電車開通の広告/阪急電車の開通 3点/甲東村住宅地の開発/今津発電所/完成間近の阪神甲子園球場/阪急西宮球場の開設/阪神武庫川線の三線軌条式線路/接収中の阪神甲子園球場/第19回全国選抜中等学校野球大会/上ヶ原文教住宅地区/武庫川団地

<図>市域の拡大

18 近代化へのあゆみ

<実物>苦楽園のはがき 9点/香櫨園のはがき 7点/甲陽園のはがき 15点

<パネル>土地開発の進展

<こども向けパネル>ウォーターシュート

19 教育の普及

<実物>明治37年から昭和15年までに刊行された国定教科書 14点

<パネル>明治30年代後半の小学校の様子(写真) 2点/就学児童数の変遷

<こども向けパネル>きょうかしよ

(3) 平成29年度利用状況

a. 常設展示室入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	26	26	26	16	24	25	26	26	24	21	24	27	291	
個人入場者数	2,167	1,520	1,162	1,684	2,526	1,734	1,774	2,150	2,393	3,494	3,443	2,031	26,078	
一般 団体	団体数	4	4	1	1	2	2	6	3	2	2	1	4	32
	入場者数	121	58	18	20	54	56	224	38	34	30	11	80	744
学 校 団 体	団体数	0	2	0	0	0	1	1	2	2	6	9	0	23
	入場者数	0	82	0	0	0	86	126	264	35	562	909	0	2,064
入場者数合計	2,288	1,660	1,180	1,704	2,580	1,876	2,124	2,452	2,462	4,086	4,363	2,111	28,886	

b. 団体利用者一覧

一般団体

番号	月	日	団体名	人数
1	4	2	和歌山市歩こう会	25
2	4	6	宝塚シニアカレッジ	12
3	4	11	西宮市新入職員研修	42
4	4	12	西宮市新入職員研修	42
5	5	19	王寺訪史会	10
6	5	19	KCC まちあるき会	19
7	5	20	やまの会かじか	18
8	5	24	ツーリズム西宮楽らく探見隊	11
9	6	17	西宮労働者福祉協議会	18
10	7	22	西宮市立甲山自然環境センター都市型里山ボランティア語り部フォー ーアップセミナー	20
11	8	12	特別展示解説会	33
12	8	22	宮水学園自主グループ古社寺会	21
13	9	8	西淀川歩こう会	13
14	9	29	島本町民生委員児童委員協議会	43
15	10	4	神戸国際語言学院	32
16	10	4	シルバーコースト甲子園デイサービス	14
17	10	7	シルバーコースト甲子園デイサービス	16
18	10	8	大東市歴史民俗資料館	11
19	10	13	浜脇古老の会	21
20	10	19	宮水学園ウォークイベント2017	130
21	11	11	指定文化財公開展示解説会	16
22	11	14	ほほえみの郷デイサービスセンター	6
23	11	19	遊歩会	16
24	12	7	SS会	24
25	12	14	アイケアサポート	10
26	1	13	西神ハイキングクラブ	19
27	1	31	デイサービスケアウィング六甲	11
28	2	3	伊丹市立博物館友の会	11
29	3	2	はぐみデイサービス	15
30	3	17	街道を歩く会	39
31	3	20	デイサービスケアウィング六甲	6
32	3	21	阪神電鉄ウォーキングイベント	20
			合計	744

学校団体

番号	月	日	団体名	人数
1	5	18	瓦木中学校1年生	78
2	5	28	浜脇中学校放送部	4
3	9	14	北六甲台小学校3年生	86
4	10	24	北夙川小学校3年生	126
5	11	8	夙川小学校3年生	167
6	11	22	浜甲子園中学校1年生	97
7	12	2	甲南大学文学部	10
8	12	10	甲南大学フィールドワーク	25
9	1	16	安井小学校3年生	133
10	1	18	深津小学校3年生	88
11	1	18	大社小学校3年生	125
12	1	18	真砂中学校	12
13	1	19	今津小学校3年生	86
14	1	31	甲子園浜小学校3年生	118
15	2	7	瓦木小学校3年生	92
16	2	9	段上小学校3年生	92
17	2	9	平木小学校3年生	58
18	2	13	浜脇小学校3年生	190
19	2	15	香櫨園小学校3年生	200
20	2	20	神原小学校3年生	88
21	2	21	鳴尾小学校3年生	75
22	2	21	高須小学校3年生	59
23	2	23	川西市立清和台南小学校3年生	55
			合計	2,064

団体合計：55団体・2,808人

c. その他の利用

資料特別利用数：22件・22人・資料数点24,490点

資料貸出利用数：1件・82日間・資料数1点

(4) 臨時休館期間

期間	目的
平成29年7月4日(火)～7月14日(金)	特別展示開催準備のため
平成29年8月29日(火)～9月1日(金)	特別展示撤収及び常設展示復旧のため
平成30年1月27日(土)～1月28日(日)	教育文化センター受変電設備改修工事に伴う停電のため

2. 特別展示

第33回 「念仏行者徳本 - 行脚の足跡と女人救済 - 」

平成29年7月15日(土)～8月27日(日) 午前10時～午後5時(開館日数:38日)

総観覧者数:4,068人、一日平均観覧者数:107人

展示資料数:99点(徳本上人名号塔拓本/徳本行者伝 上/徳本行者伝 中/徳本行者行状記/徳本行者行状和讃/徳本行者伝 上/徳本行者行状和讃/徳本行者行状和讃/本訓書状/竜本書状/徳本行者伝 上/徳本行者御勸誠聞書/徳本行者御勸誠聞書/六字名号及徳本行者画像/一枚起請文要文及 円光大師画像/仏説阿彌陀經/仏説無量寿經/一枚起請文/病人救済の図/腹痛の娘治癒につき札状/徳本行者御勸誠聞書/徳本行者和讃 道歌/御来迎図/大庄屋日記/棟札/陰蔵相/徳本行者伝 中/名号石/箸 5点/念珠/筆 2点/木造徳本行者坐像/木造吉田道可坐像/木魚/撞木/法衣 図面 2点/徳本六字名号刷物/如意 2点/徳本行者伝 中/辰馬氏墓誌銘/徳本行者御勸誠聞書/徳本行者伝 下/頓教書状/策誉(本励)書状/知恩院役者書状/本律・本弁書状/徳本書状写/道歌/徳本上人道歌/徳本上人御歌/徳本行者言葉の末/道歌 写/江戸下向書類入/尼甚書状/本仏書状/和歌 芝山時豊/木造徳本行者坐像/徳本有髮の尊像図/毛髮/御髮・御爪 包紙/名体不離尊石仏拓本/中勝寺名号石模写本紙名号/利剣名号/拝服名号 15点/虫除け名号 包紙/徳本行者十念具足阿彌陀如来図/両手印名号/拝服名号 版木/六字名号及徳本行者像 版木/六字名号及火の用心 版木/六字名号/徳本行者伝 下/頓教書状/本仏書状/本律・本弁書状/住吉名号石起立一件 写/本励書状/御宝塔念仏 寺院一覧)

展示パネル:開催挨拶・展示協力者(シート) 3点/写真パネル 10点/解説パネル 20点/年譜(シート) 1点/徳本関係地区<行脚の足跡>(シート) 1点/解説キャプション 40点/コーナーシート 5点/キャプション 77点

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室

関連行事(全2回、参加人数のべ74人)

(1)歴史講座「念仏行者徳本の足跡 - 摂津地域を中心に - 」

平成29年6月21日(水) 午後1時30分～3時

聴講者数:41人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

(2)展示解説会

平成29年8月12日(土) 午前10時～11時

参加人数:33人

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室

3. 今月のアラカルト

今月のアラカルト(全10回)

平成29年4月4日(火)～平成30年3月25日(日)

午前10時～午後5時(開館日数:250日)

観覧者数:24,089人

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室

タイトル	開催期間	開催日数	観覧者数	展示資料
4月号 新収資料紹介1 「江戸時代の興行チラシ」	平成29年4月4日(火) ～4月30日(日)	24日	2,079人	1点(見世物興行引牒)
5月号 新収資料紹介2 「船乗り必携『船路細見記』」	平成29年5月2日(火) ～6月4日(日)	30日	1,836人	1点(新增補大日本船路細見記)
6月号 新収資料紹介3 「幕末の旅日記」	平成29年6月6日(火) ～7月2日(日)	24日	1,220人	2点(摂州名所荒増巡覧記 1点、『江戸温泉紀行』1点)

タイトル	開催期間	開催日数	観覧者数	展示資料
9月号 新収資料紹介4 「太閤窯製の花入」	平成29年9月2日(土) ～10月1日(日)	26日	1,939人	1点(太閤窯製花入)
10月号 新収資料紹介5 「江戸の科学書『颶風新話』」	平成29年10月3日(火) ～10月29日(日)	24日	1,993人	2点(『颶風新話』乾・坤)
11月号 民具の表と裏1 「椀」	平成29年10月31日(火) ～11月26日(日)	24日	2,376人	3点(朱漆塗橘文蒔絵吸物椀1点、椀蓋2点)
12月号 民具の表と裏2 「炭火アイロン」	平成29年11月28日(火) ～12月28日(木)	27日	2,606人	2点(炭火アイロン)
1月号 民具の表と裏3 「五合枡」	平成30年1月5日(金) ～1月28日(日)	23日	3,531人	2点(五合枡)
2月号 民具の表と裏4 「サオバカリ」	平成30年1月30日(火) ～2月25日(日)	24日	4,786人	2点(サオバカリ)
3月号 民具の表と裏5 「下駄」	平成30年2月27日(火) ～3月25日(日)	24日	1,723人	1点(塗り下駄)

4. 指定文化財公開

平成29年度 指定文化財公開展「指定天然記念物と保存会活動」

平成29年10月31日(火)～11月26日(日) 午前10時～午後5時(開館日数:24日)

観覧者数:2,074人

展示資料数:実物資料(標本)6点(満地谷層の植物遺体包含層剥ぎ取り標本1点/植物遺体標本5点)

写真・解説パネル等20点(テーマ解説パネル1点/指定天然記念物保存会活動紹介パネル4点/指定天然記念物写真パネル11点/指定天然記念物イメージ写真シート3点/「西宮の天然記念物」シート1点)

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室

関連行事(全1回、参加人数のべ16人)

(1)展示解説会

平成29年11月11日(土) 午前10時～11時

参加人数:16人

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室

5. 教育普及

郷土の歴史と文化をより深く理解してもらうために、講座の開催・出版・広報などを行った。

(1) 講座・見学会

a. 第33回 親と子の郷土史講座（全7講座、参加人数のべ76人）

番号	タイトル	講師	日時	聴講者数
1	忘れまい 阪神・淡路大震災	小山修治郎教諭（北夙川小学校）	平成29年8月16日（水） 午前10時30分～11時30分	6人
2	アニメ『火垂るの墓』からみる戦争中の西宮	高見祥一教諭（樋ノ口小学校） 早川智洋教諭（安井小学校）	平成29年8月16日（水） 午後1時30分～3時	10人
3	高畑町遺跡について	宮崎麻貴教諭（深津小学校）	平成29年8月17日（木） 午前10時30分～11時30分	4人
4	西宮の名物を知ろう！味わおう！	國村真教諭（甲子園浜小学校）	平成29年8月17日（木） 午後1時30分～3時	16人
5	ホンモノにふれる - 速報！発掘調査からわかった西宮 -	山田暁（当館職員）	平成29年8月18日（金） 午前10時30分～午後0時	12人
6	阪神電車と甲子園の街	松村亮教諭（南甲子園小学校）	平成29年8月18日（金） 午後1時30分～3時	10人
7	ホンモノにふれる - 戦国時代の直筆文書 -	笠井今日子（当館職員）	平成29年8月19日（土） 午前10時30分～午後0時	18人

場所：1、2、3、6、7は西宮市立郷土資料館・講座室、4は浜脇公民館（浜脇町5-14）、5は西宮市立郷土資料館・集会室で実施。

b. 西宮市立郷土資料館歴史ハイキング（全2回、参加人数のべ75人）

第44回 広田・名次山の文化財をめぐる（さくらFMウォーク）

平成29年5月21日（日） 午前9時30分～午後0時30分

参加人数：24人

見学場所：広田神社／塞神社／震災記念碑公園／名次神社／如意寺／満地谷層の植物遺体包含層／八十塚古墳群苔楽園支群1・2号墳／神園公園／神園1号墳

第45回 上ヶ原周辺の文化財をめぐる（さくらFMウォーク／魅力再発見西国街道2017リレーウォーク／まちたびこしのみや2017）

平成29年11月19日（日） 午前9時30分～午後0時45分

参加人数：51人

見学場所：関西学院構内古墳／上ヶ原水路／上ヶ原八幡神社／関西学院大学時計台／神呪巖島神社

c. 西宮市立郷土資料館・宮水学園自主グループ「ミレニアム2000西宮」共同開催 歴史講座（全2回、参加人数のべ74人）

通算回数	タイトル	講師	日時	聴講者数
第43回	念仏行者徳本の足跡 - 摂津地域を中心に -	俵谷和子（当館職員）	平成29年6月21日（水） 午後1時30分～3時	41人
第44回	考古資料からみた中世の人々の暮らし - 西宮神社社頭遺跡を中心に -	森下真企（当館職員）	平成29年10月18日（水） 午後1時30分～3時	33人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

(2) 印刷・出版

- a. 『郷土資料館行事予定案内リーフレット 平成29年度』
- b. 『念仏行者徳本 - 行脚の足跡と女人救済 - 』（西宮市立郷土資料館第33回特別展示案内図録）
- c. 『特別展示ポスター』
- d. 『特別展示チラシ』
- e. 『西宮歴史調査団年報 2016年度版』
- f. 『西宮歴史調査団ニュース』第6号
- g. 『西宮歴史調査団ニュース』第7号
- h. 『西宮市立郷土資料館報 平成28年度（2016）』
- i. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第47号
- j. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第48号
- k. 『親と子の郷土史講座チラシ』
- l. 『第33回 親と子の郷土史講座講義資料集』
- m. 『西宮市文化財資料』第65号（「徳川大坂城東六甲採石場詳細分布調査報告書 - 甲山刻印群G地区(通称仏性ヶ原) - 」）
- n. 『文化財資料目録』第1集（「浄橋寺文書（西宮市指定重要無形文化財）」）

(3) 広報

a. 西宮市政ニュース

一般広報（4/10号、4/25号、5/10号、6/10号、6/25号、7/10号、7/25号、8/10号、9/10号、10/10号、10/25号、11/10号、11/25号、12/10号、1/1号、2/10号、2/25号、3/10号）

b. インターネット

西宮市ウェブサイトの内「歴史と文化財」において、郷土資料館及び文化財に関する情報ページを運営した。

c. ケーブルテレビ

ベイ・コミュニケーションズ「ベイコム地元ニュース」（8月22日～8月28日、2月27日、3月27日）

d. ラジオ

さくらFM「歴史と文化の散歩道」（「4月アラカルト展「新収資料紹介1 江戸時代の興行チラシ」」4月9日／「5月アラカルト展「新収資料紹介2 船乗り必携『船路細見記』」」5月14日／「6月アラカルト展「新収資料紹介3 幕末の旅日記」」6月11日／「市役所1階南側展示「鳥瞰図」について」6月18日／「第33回特別展示「念仏行者徳本 - 行脚の足跡と女人救済 - 」」7月23日／「9月アラカルト展「新収資料紹介4 太閤窯製の花入」」9月10日／「10月アラカルト展「新収資料紹介5 江戸の科学書『颯風新話』」」10月8日／「市指定史跡「具足塚古墳」について」10月29日／「11月アラカルト展「民具の表と裏1『椀』」」11月5日／「平成29年度指定文化財公開展『指定天然記念物と保存会活動』」11月12日／「12月アラカルト展「民具の表と裏2『炭火アイロン』」」12月3日／「国指定史跡「大坂城石垣石丁場跡東六甲石丁場跡」について」12月17日／「1月アラカルト展「民具の表と裏3『枺』」」1月7日／「「西宮」の始まりについて（1）」1月28日／「2月アラカルト展「民具の表と裏4『サオバカリ』」」2月4日／「「西宮」の始まりについて（2）」2月11日／「「西宮」の始まりについて（3）」2月25日／「3月アラカルト展「民具の表と裏5『下駄』」」3月5日）、さくらFM「まちたびラヂヲ」（「さくらFM ウォーク」5月21日／「さくらFM ウォーク」11月19日）、さくらFM「西宮徹底解剖」（「にこのみや、遺跡の秘密。」5月1日／5月8日／5月15日／5月22日、「西宮歴史調査団の過去・現在・未来」7月3日／7月10日／7月17日／7月24日、「西宮の伝統産業を支えた道具と職人」11月6日／11月13日／11月20日／11月27日）、さくらFM「聞いてなるほど！西宮市政」（12月14日）

(4) 博物館実習

実習生：3人

期間：平成29年8月15日（火）～8月19日（土）

実施日時	実施内容
第1日 平成29年8月15日（火）	オリエンテーション、館内施設見学
第2日 平成29年8月16日（水）	資料取扱実習（美術工芸品）、教育普及事業補助
第3日 平成29年8月17日（木）	資料取扱実習（戦時生活資料、考古資料）
第4日 平成29年8月18日（金）	資料取扱実習（古文書）、教育普及事業補助
第5日 平成29年8月19日（土）	教育普及事業補助、総括

(5) トライやるウィーク

学校：甲陵中学校2年生

人数：2人

期間：平成29年5月23日（火）～5月26日（金）

実施日時	実施内容（午前）	実施内容（午後）
第1日 平成29年5月23日（火）	オリエンテーション	展示研究実習
第2日 平成29年5月24日（水）	文化財調査実習高火町遺跡発掘実習	名塩和紙学習館見学
第3日 平成29年5月25日（木）	考古資料の観察・スケッチ	郷土資料館資料整理
第4日 平成29年5月26日（金）	刊行物発送作業	全体総括会

(6) 職員の出講事業

派遣先	講座名等	出講日	講師名
関西大学	博物館実習	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	合田茂伸
関西大学	博物館実習	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	西川卓志
関西大学	博物館概論	平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	西川卓志
ひょうご歴史研究室	ひょうご歴史研究室共同研究員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	笠井今日子
兵庫県教育委員会事務局文化財課	兵庫県の祭り・行事調査委員会	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	俵谷和子 西尾嘉美 椿原佳恵
大阪府立弥生文化博物館	大阪府立弥生文化博物館講演会 「新旧学芸員承継ミニシンポジウム」	平成29年6月17日	瀬尾晶太
教育研修課	第2回研究グループ「西宮郷土資料集」研究会	平成29年6月28日	合田茂伸
西宮市環境衛生協議会	平成29年度西宮市環境衛生協議会会長研修会 「西宮の小史」	平成29年7月20日	合田茂伸
西宮市立甲山自然環境センター指定 管理者 NPO 法人こども環境活動支援 協会	にしのみや都市型里山ボランティアフォローアップ 研修「甲山を北から学ぶ」	平成29年7月22日	早栗佐知子
技術管理課	技術職員研修「文化財保護法に係る勉強会」	平成29年7月25日	合田茂伸
教育研修課	第3回研究グループ「西宮郷土資料集」研究会	平成29年7月31日	合田茂伸

派遣先	講座名等	出講日	講師名
教育研修課	社会科教育研修 「歩こう知ろう西宮Ⅱ～生瀬の文化財を歩く～」	平成29年8月24日	合田茂伸
歴史街道推進協議会	「魅力再発見 西国街道2017」リレートーク	平成29年9月9日	山田暁
兵庫県立歴史博物館	平成29年度兵庫県立歴史博物館地域講演会 「書き記された『たたら製鉄』」	平成29年9月10日	笠井今日子
小松校区県民交流ひろば	「鳴尾の歴史」講演会 第5弾 「鳴尾の昭和史～激動の時代を越えて～」	平成29年9月30日	俵谷和子
有田市郷土資料館	有田市郷土資料館特別展講演「女性救済と徳本」	平成29年11月11日	俵谷和子
高砂市教育委員会生涯学習課	国史跡「石の宝殿及び竜山石採石遺跡」指定記念講演 「六甲採石場について」	平成29年11月18日	合田茂伸
高木公民館	「西宮市のお寺と仏像」	平成29年11月21日	俵谷和子
教育研修課	第8回研究グループ「西宮郷土資料集」研究会	平成30年1月17日	合田茂伸
尼崎市立文化財収蔵庫	平成29年度文化財保存活用サポートボランティア養成事業研修会「西宮市高畑町遺跡で出土した古墳時代の木製品」	平成30年2月16日	森下真企
ひょうご歴史研究室	平成29年度研究成果発表フォーラム「播磨のたたら製鉄研究の新展開」 「古文書からみた近世播磨のたたら製鉄」	平成30年3月4日	笠井今日子

6. 共催・後援事業

(1) 講座・講演会

a. (公財) 白鹿記念酒造博物館

平成29年度白鹿記念酒造博物館特別講演会

「地域に根ざして100年・戦災・震災・環境問題をふりかえって-」 山内英正氏 ((公財) 白鹿記念酒造博物館 評議員)

平成29年8月20日(日) 午後1時30分～3時

参加人数: 12人

場所: 白鹿記念酒造博物館 記念館2階視聴覚室(鞍掛町8-21)

b. (公財) 黒川古文化研究所 夏季講座(全4講座、参加人数のべ216人)

第63回「中国の山水画と雪舟」

「郭熙山水の成立」塚本鷹充氏(東京大学東洋文化研究所 准教授)

「雪舟の中国体験」宮島新一氏(元九州国立博物館 副館長)

平成29年7月29日(土) 午前9時30分～午後0時30分

参加人数: 123人

場所: 西宮市立勤労会館ホール(松原町2-37)

「北宋徽末時代の開封と昆岳」久保田和男氏(長野工業高等専門学校 教授)

「徽宋朝の宮廷画家李唐の山水画」曾布川寛氏(黒川古文化研究所 所長)

平成29年7月30日(日) 午前9時30分～午後0時30分

参加人数: 93人

場所: 西宮市立勤労会館ホール(松原町2-37)

c. 西宮市内博物館等連携講座(全10回、参加人数のべ681人)

通算回数	タイトル	講師	日時	聴講者数
第48回	考古学における用途認定 - 入門考古学3 -	上原真人氏(辰馬考古資料館館長)	平成29年6月8日(木) 午後1時30分～3時	53人
第49回	弥生時代集落の特性について	西川卓志(当館職員)	平成29年7月13日(木) 午後1時30分～3時	71人
第50回	<古代・中世の神々①>八幡信仰の展開と朝廷	田村正孝氏(大手前大学史学研究所研究員)	平成29年8月10日(木) 午後1時30分～3時	83人
第51回	考古学から見た中国古代史の裏側～秦の歴史とその時代～	石谷慎氏(黒川古文化研究所研究員)	平成29年9月14日(木) 午後1時30分～3時	86人
第52回	古代中国文化と倭の接点 - 楽浪郡の考古学	森下章司氏(大手前大学史学研究所所長)	平成29年10月12日(木) 午後1時30分～3時	107人
第53回	武家故実家・伊勢貞丈とその周辺 - 18世紀における古武器研究のありさま -	川見典久氏(黒川古文化研究所研究員)	平成29年11月9日(木) 午後1時30分～3時	49人
第54回	丹波杜氏の酒造り	大浦和也氏(白鹿記念酒造博物館学芸員)	平成29年12月14日(木) 午後1時30分～3時	37人
第55回	弥生時代の武器と戦い	瀬尾晶太(当館職員)	平成30年1月11日(木) 午後1時30分～3時	77人
第56回	弥生青銅器の併行関係論1	青木政幸氏(辰馬考古資料館学芸員)	平成30年2月8日(木) 午後1時30分～3時	69人
第57回	江戸時代における十日えびすとその変遷	松本和明氏(西宮神社文化研究所研究員)	平成30年3月8日(木) 午後1時30分～3時	49人

場所：第48、49回は大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター(郷免町8-17)、第50～53、55、57回は大手前アートセンター(郷免町8-12)、第54回は白鹿記念酒造博物館(鞍掛町8-21)、第56回は大手前大学メディアライブラリーCELL1階フォーラム(御茶屋所町6-42)。

d. (公財)辰馬考古資料館 講演会

「古墳時代倭鏡の成立と展開」岩本崇氏(島根大学 准教授)
平成29年11月11日(土) 午後1時30分～3時10分
参加人数：28人
場所：西宮市立郷土資料館・集会室

e. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携講座

「西宮探訪～古社寺を巡る～」俵谷和子(当館職員)
平成30年2月27日(火) 午後2時～3時30分
聴講者数：55人
場所：西宮北口図書館・AVホール(北口町1-2)

f. 大坂城石垣と石切丁場シンポジウム

「大坂城石垣と石切丁場シンポジウム～世界に誇る屈強な大坂城石垣と瀬戸内の石切丁場の物語～」
主催：小豆島町、西宮市教育委員会 共催：土庄町 後援：大阪市、茨木市、丸亀市教育委員会、笠岡市
平成30年2月10日(土) 午後0時50分～4時20分

【基調講演】

「大坂城を支えた石 - 城郭史上最強の石垣 -」中井均氏(滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科 教授)

【調査活動報告】

「大坂城石垣の産地、東六甲石丁場跡の調査報告 - 佐賀藩鍋島氏に思いをはせて -」森下真企(当館職員)

「石切りの技術を未来に伝える鍛冶仕事」 藤田精氏（高尾石材株式会社 生産事業部長）

（川宿田好見氏（小豆島町「世界遺産化」対策室 学術専門員））

「丸亀市指定史跡塩飽本島高無坊山石切丁場跡について」 東信男氏（丸亀市教育委員会総務課文化財保護室長）

「重なるふたつの大坂城 - 発掘調査成果から - 」 市川創氏（大阪府教育庁文化財保護課 技師）

【フリーディスカッション】

- ・パネリスト 中井均氏／森下真企／藤田精氏／東信男氏／市川創氏
- ・コメンテーター 橋詰茂氏（徳島文理大学 教授）／塩田幸雄氏（小豆島 町長）
- ・コーディネーター 川宿田好見氏

聴講者数：285人

場所：大阪歴史博物館・4階講堂（大阪市中央区大手前4丁目1-32）

g. 大手前大学史学研究所・西宮市教育委員会合同シンポジウム

「新発見・西宮の地下に眠る古代遺跡 - 浮かびあがる武庫郡の中心 - 」

平成30年3月17日（土）午後1時～5時10分

【発表】

「シンポジウムの趣旨」 森下章司氏（大手前大学史学研究所 所長）

「古墳時代集落としての高畑町遺跡 - 既往の調査結果と第9次調査速報 - 」 森下真企（当館職員）

「高畑町遺跡出土の木器」 上原真人氏（辰馬考古資料館 館長）

「津門の遺跡と前方後円墳」 山田暁（当館職員）

「津門稲荷町遺跡と西摂地域の埴輪」 廣瀬寛氏（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 主任研究員）

「発掘調査から構成する西宮地域史」 合田茂伸（当館職員）

「阪神中心部地域曙期の地域像と歴史像 - 最新考古資料の分析・検討をふまえて - 」 森岡秀人氏（関西大学 非常勤講師）

【シンポジウム】

「西宮の古代遺跡の意義を探る」 森下章司氏、森岡秀人氏、合田茂伸

聴講者数：130人

場所：大手前大学さくら夙川キャンパス A44教室（御茶屋所町6-42）

h. 国史跡指定記念セミナー

『「大坂城石垣石丁場跡 東六甲石丁場跡」とは何か』

平成30年3月25日（日） 午前9時45分～11時45分

【報告】

「大坂城石垣石丁場跡／東六甲石丁場跡 史跡指定に至る経過～「徳川大坂城東六甲採石場」の調査研究史概要～」合田茂伸（当館職員）

「東六甲石丁場跡における採石遺構の分布状況」 森下真企（当館職員）

【講演】

「大坂城普請における鍋島家の採石活動」 高田祐一氏（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 研究員）

聴講者数：181人

場所：プレラホール（高松町4-8 プレラにしのみや5階）

(2) 展覧会

a. (公財) 白鹿記念酒造博物館

春季特別展 笹部さくらコレクション「ある櫻男の物語 桜と歩んだ笹部新太郎」

平成29年3月18日（土）～5月29日（月）

観覧者数：2,623人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

夏季館蔵品展 「鹿 幸せのどうぶつ」

平成29年7月12日（水）～8月28日（月）

観覧者数：1,416人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

企画展 堀内ふびすコレクション「福あつめ」

平成29年12月6日（水）～平成30年1月11日（木）

観覧者数：1,676人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

企画展「節句の人形」

平成30年1月26日（金）～3月5日（月）

観覧者数：4,158人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

b.（公財）黒川古文化研究所

第117回展覧「黒川古文化研究所名品展 - 中国古代の青銅貨幣・円山四条派の絵画・刀剣と刀装具 -」

平成29年4月15日（土）～5月28日（日）

観覧者数：830人

場所：黒川古文化研究所・展示室（苦楽園三番町14-50）

第118回展覧「名物「鳥飼来国次」受贈記念 刀剣のかかがやき 刀装具のいろいろ」

平成29年10月14日（土）～11月26日（日）

観覧者数：1,892人

場所：黒川古文化研究所・展示室（苦楽園三番町14-50）

c. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携事業

展示&ブックフェア「西宮の古社寺と文化財」

平成30年2月2日（金）～平成30年3月4日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：27日）

場所：西宮市立北口図書館・西側壁面展示書架（北口町1-2 ACTA 西宮東館5階）

(3) その他

a. 兵庫県立歴史博物館

ひょうごミュージアムフェア「名塩紙であそぼう」

平成30年1月20日（土） 午前10時～午後4時

参加人数：247人

場所：イオンモール姫路リバーシティー（姫路市飾磨区細江2560）

b. 街道を歩く会（西宮市立郷土資料館・伊丹市立博物館・芦屋市教育委員会）

「西国街道その⑤～芦屋から西宮まで～」

平成30年3月17日（土） 午後1時～5時15分

参加人数：39人

c.（公財）白鹿記念酒造博物館

ワークショップ「ビンで精米体験」

平成29年7月22日（土） 午後2時～3時

参加人数：20人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

7. 資料の収集・保存・調査・研究

(1) 収蔵資料の概要（合計：38,482点）

	民俗資料	教育史資料	考古資料	歴史資料	戦時生活資料	合計
平成28年度まで	8,758	17,166	942	10,565	1,046	38,477
平成29年度寄贈	0	0	0	3	0	3
平成29年度購入	0	0	0	2	0	2
平成29年度制作	0	0	0	0	0	0
累計	8,758	17,166	942	10,570	1,046	38,482

a. 寄贈資料

歴史資料

鳴尾村誌編纂事務委嘱状1点／甲東園住宅案内図1点／戎座映画広告1点

b. 購入資料

歴史資料

倭名類聚抄1点／広告(龍吐水・登龍水)1点

(2) 図書を寄贈いただいた機関

青森県立郷土館、明石市立天文学館、明石市立文化博物館、赤穂市立美術工芸館、赤穂市立歴史博物館、尼崎市立田能資料館、尼崎市立地域研究史料館、池田市立歴史民俗資料館、和泉市いづみの国歴史館、板橋区立郷土資料館、板橋区立美術館、伊丹市立博物館、茨木市立文化財資料館、岩手県立博物館、宇治市歴史資料館、NHK博物館、愛媛県歴史文化博物館、大分市歴史資料館、大阪市立住まいのミュージアム（大阪くらしの今昔館）、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪歴史博物館、大田区立郷土資料館、大津市歴史博物館、大山崎町歴史資料館、沖縄県立美術館・博物館、小野市立好古館、香川県立ミュージアム、(公財) 柿衛文庫、鹿児島大学総合研究博物館、柏原市立歴史資料館、葛城市歴史博物館、神奈川県立博物館、上郡町郷土資料館、亀岡市文化資料館、刈谷市美術館、関西大学博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、岐阜県博物館、岐阜市歴史博物館、京都市歴史資料館、京都府京都文化博物館、京都府立山城郷土資料館、虚子記念文学館、清荒神清澄寺鉄斎美術館、草津宿街道交流館、熊本市熊本博物館、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、神戸市立小磯記念美術館、神戸市立須磨海浜水族園、神戸市立博物館、神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館、神戸深江生活文化史料館、(独) 国立科学博物館、(独) 国立文化財機構京都国立博物館、(独) 国立文化財機構奈良国立博物館、(独) 国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館、埼玉県立川の博物館、埼玉県平和資料館、静岡市立登呂博物館、昭和館、吹田市立博物館、世田谷区立郷土資料館、瀬戸内海歴史民俗資料館、太子町立歴史資料館、大東市立歴史民俗資料館、高槻市立今城塚古代歴史館、(公財) 竹中大道具館、たつの市立龍野歴史文化資料館、丹波市立植野記念美術館、天理参考館、東京都江戸東京博物館、同志社大学歴史資料館、鳥羽水族館、富山県[立山]博物館、長野市立博物館、名古屋市博物館、奈良県立民俗博物館、南丹市立文化博物館、南丹市日吉町郷土資料館、新潟市歴史博物館、西宮市大谷記念美術館、西宮市貝類館、(公財) 日本のあかり博物館、(共) 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館、沼津市明治史料館、沼津市歴史民俗資料館、播磨町郷土資料館、東大阪市立郷土博物館、彦根城博物館、姫路市書写の里・美術工芸館、姫路市立美術館、姫路文学館、広島県立民俗資料館、兵庫県立考古博物館、兵庫県立美術館、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立歴史博物館、兵庫陶芸美術館、平塚市博物館、福岡市博物館、府中市郷土の森博物館、向日市文化資料館、三木市立みき歴史資料館、みくに龍翔館、明治大学博物館、八尾市立歴史民俗資料館、野洲市歴史民俗博物館、安中新田会所跡 旧植田家住宅、横尾忠則現代美術館、吉野歴史資料館、立命館大学国際平和ミュージアム、和歌山県立博物館、和歌山県立文書館、和歌山市立博物館

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構、明石葵会、明石民俗文化財調査団、朝来市埋蔵文化財センター古代あさご館、和泉市史編さん委員会、猪名川町歴史文化遺産活性化実行委員会、越前市史編さん委員会、(公財) 大阪市博物館協会大阪文化財研究所、(公財)

大阪府文化財センター、大手前大学史学研究所、岡山県古代吉備文化財センター、お茶の水女子大学学芸員課程、海港都市研究センター、関西学院大学、(公財)元興寺文化財研究所、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、関西学院大学史学会、九州大学保健福祉大学学芸員養成課程、(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター、近畿民具学会、宮内庁書陵部、(公財)黒川古文化研究所、甲東文化財保存会、甲南大学文学部、神戸女学院大学、神戸女子大学古典芸能研究センター、神戸女子大学史学科、神戸市埋蔵文化センター、神戸新聞総合出版センター、神戸大学大学院海事科学研究科、神戸大学大学院人文学研究科、神戸・阪神間美術館・博物館連携プログラム実行委員会、甲陽学院、國學院大學考古学研究室、國學院大學博物館学研究室、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター、(公財)史学会、滋賀県立大学人間文化部、松蔭女子学院、新温泉町歴史文化遺産活用実行委員会、全国万葉協会、宝塚の古文書を読む会、たつの市立埋蔵文化財センター、(公財)徳島県埋蔵文化財センター、豊岡市歴史文化遺産活用活性化事業実行委員会、豊橋市美術博物館友の会、(公財)長岡京市埋蔵文化財センター、奈良大学文学部文化財学科、新潟市文化財センター、西宮古文書を読む会、西宮市立甲陵中学校、西宮神社文化研究所、西宮文化協会、日本海事史学会、日本パン学会、(公財)日本文化財保護協会、日本民具学会、花園大学史学会、東アジア友好博物館交流事業実行委員会、姫路市埋蔵文化財センター、(公財)兵庫県まちづくり技術センター、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 RRM、兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会、(公財)枚方市文化財研究室、美術館連絡協議会事務局、福井県教育庁埋蔵文化財調査センター、福岡大学人文学部考古学研究室、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、文化庁、武庫川学院、(公財)八尾市文化財調査研究会、楽浪文化財修理所、立命館大学歴史都市防災研究所、龍谷大学文化部博物館実習室、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団
県市町村及び教育委員会(明石市、赤穂市、朝倉市、芦屋市、明日香村、尼崎市、有田市、淡路市、池田市、泉佐野市、和泉市、板橋区、伊丹市、猪名川町、茨木市、越前市、大垣市、大阪狭山市、岡山県、小野市、貝塚市、海南市、加古川市、加西市、橿原市、加東市、門真市、神河町、上郡町、川西市、上牧町、北九州市、熊本市、神戸市、越谷市、御所市、堺市、佐用町、三田市、四条畷市、島根県、吹田市、洲本市、世田谷区、摂津市、善通寺市、泉南市、総社市、大東市、高岡市、高砂市、多可町、高槻市、宝塚市、丹波市、豊岡市、豊中市、富田林市、新潟市、西宮市、沼津市、播磨町、阪南市、姫路市、兵庫県、枚方市、福岡市、福崎町、福山市、藤井寺市、米原市、三豊市、南あわじ市、宗像市、八尾市、野洲市、大和郡山市、和歌山県)

(3) 調査・研究

a. 収蔵資料の調査研究

民俗資料の整理作業
歴史資料の整理作業
教育史資料の整理作業
考古資料の整理作業

b. 専門分野の調査研究

漁労用具に関する調査研究
市指定文化財「如意庵(寺)過去帳」の調査研究
宗旨人別帳(西宮町)の調査研究
徳川大坂城東六甲採石場に関する調査
生瀬地区の文化遺産に関する調査研究
無形文化財に関する調査研究

(4) 収蔵資料の公開

西宮市が保有する歴史資料を公開するウェブサイト「にしのみやデジタルアーカイブ」に収蔵資料等161点のデジタルデータ(10,345ファイル)を登録した。

(5) 収蔵資料の燻蒸処理

有害生物除去のため展示室及び収蔵庫の燻蒸を下記の通り行った。

a. 燻蒸処理（歴史資料、民俗資料、古文書、教科用図書等）

場所：常設展示室、収蔵庫1・2・3及び前室

実施日：平成30年3月26日（月）

使用薬剤：エコミューア-FT ドライ、ライセント

8. 文化財調査ボランティア（西宮歴史調査団）

(1) 調査活動（登録者26人、のべ699人、153日 ただし個人活動は除く）

平成18年度より行っている市民主体の資料調査事業である。月1回の定例会を実施するとともに、登録者が4班に分かれ市内の文化財調査を進めた。活動は1年を通して実施、班を重複した登録者もいた。

a. 石造物調査班

日野神社・廣田神社の石造物について、所在、法量、材質、銘等を調査し、記録した。

調査員数：7人

b. 橋梁調査班

市内の河川に架かる橋梁の現況や名称の由来等を調査し、記録した。また、調査結果を表などに整理した。

調査員数：8人

c. 古文書調査班

旧西宮町の宗旨人別帳を調査し、記録した。

調査員数：11人

d. 竜吐水調査班

甲東地区・山口地区等市内の消防署・消防分団・個人蔵等の伝統的消防用具や関係資料等を調査し、記録した。

調査員数：8人

(2) 定例会（全12回、参加人数のべ207人）

	内容	日時	参加人数
4月定例会	オリエンテーション 団員の顔合わせ、自己紹介、団長選出	平成29年4月8日（土） 午前9時30分～午後0時	16人
5月定例会	市指定重要有形文化財（古文書）「名塩産藩札文書と名塩の私札」特別観覧・「第117回黒川古文文化研究所名品展」観覧	平成29年5月13日（土） 午前9時30分～11時30分	12人
6月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のタネ」①無形文化財調査	平成29年6月10日（土） 午前9時30分～11時30分	16人
7月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のタネ」②民俗資料・考古資料の取り扱いと観察	平成29年7月8日（土） 午前9時30分～11時30分	19人
8月定例会	第33回特別展示「念仏行者徳本 - 行脚の足跡と女人救済 -」見学・解説	平成29年8月12日（土） 午前9時30分～11時30分	17人

	内容	日時	参加人数
9月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のタネ」③弓矢	平成29年9月9日(土) 午前9時30分～11時30分	17人
10月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のタネ」④井戸	平成29年10月14日(土) 午前9時30分～11時30分	18人
11月定例会	平成29年度指定文化財公開展「指定天然記念物 と保存会活動」見学・解説	平成29年11月11日(土) 午前9時30分～11時30分	15人
12月定例会	橋梁班 平成29年度調査中間報告	平成29年12月9日(土) 午前9時30分～11時30分	19人
1月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のタネ」⑤引札	平成30年1月13日(土) 午前9時30分～11時30分	17人
2月定例会	学芸員によるミニ研修 「西宮市立郷土資料館のこれまでと、これから」	平成30年2月10日(土) 午前9時30分～11時30分	20人
3月定例会	平成29年度活動報告会・平成30年度団員登録 会の準備及び実施	平成30年3月10日(土) 午後0時30分～4時	21人

(3) その他活動

a. 平成29年度活動報告会・平成30年度団員登録会

平成30年3月10日(土) 午後1時30分～4時

参加人数：31人(平成29年度登録の団員21人、一般聴講者10人)

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

b. 西宮歴史調査団年報

『西宮歴史調査団年報 2016年度版』平成30年3月30日発行

c. 西宮歴史調査団通信

毎月の定例会に合わせて発行し、西宮歴史調査団員に配布した。また、郷土資料館事務所前に掲示するとともに市ホームページに公開した。

d. 西宮歴史調査団ニュース

『西宮歴史調査団ニュース』第6号 平成29年8月12日発行

内容：「宗門帳に見る幕末の濱東町二丁目」

『西宮歴史調査団ニュース』第7号 平成30年3月10日発行

内容：「歴史遺産保存活用フォーラム in 尼崎 参加報告」、「何故か気になる 鎌田三伯 - 旧西宮町宗門帳の調査から -」

e. さくらFM「西宮徹底解剖」への出演

「西宮歴史調査団の過去、現在、未来」7月3日/7月10日/7月17日/7月24日

II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営

伝統産業である「名塩紙」（国指定・兵庫県指定無形文化財）への理解を深めることを目的に、常設展示室において関連資料の展示を行うとともに、紙すき実習の指導を行った。なお、和紙学習館の運営にあたっては、その一部を名塩和紙学習館紙すき推進委員会に委託した。

1. 平成 29 年度利用状況

(1) 紙すき体験学習

事前に申し込みのあった団体に、専門の指導員が実習の指導を行った。

a. 紙すき実習利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校 団体	団体数	0	15	3	0	0	0	7	7	2	5	3	0	42
	利用者数	0	465	351	0	0	0	476	356	165	291	242	0	2,346
一般 団体	団体数	3	1	1	5	4	1	1	1	1	0	6	1	25
	利用者数	110	5	16	71	89	7	6	4	29	0	23	5	365
団体数合計		3	16	4	5	4	1	8	8	3	5	9	1	67
利用者数合計		110	470	367	71	89	7	482	360	194	291	265	5	2,711

b. 利用者一覧

学校団体

番号	月	日	団体名	人数
1	5	12	名塩小学校3年生まごころAM	90
2	5	12	名塩小学校3年生まごころPM	30
3	5	17	名塩小学校2年生まごころ	107
4	5	22	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	5
5	5	22	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	5
6	5	23	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	5
7	5	23	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	5
8	5	24	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	5
9	5	24	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	5
10	5	25	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	5
11	5	25	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	5
12	5	26	東山台小学校3年生まごころ	81
13	5	26	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	5

番号	月	日	団体名	人数
14	5	26	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	5
15	5	31	名塩小学校2年生まごころ	107
16	6	2	名塩小学校3年生まごころ	119
17	6	9	甲子園浜小学校3年生	112
18	6	16	安井小学校3年生	120
19	10	3	西宮浜小学校3年生	51
20	10	6	鳴尾小学校3年生	72
21	10	18	名塩幼稚園	26
22	10	19	高須西小学校3年生	84
23	10	20	瓦木小学校3年生	89
24	10	27	高須小学校3年生	52
25	10	31	高木北小学校3年生	102
26	11	2	深津小学校3年生	86
27	11	9	名塩小学校6年生卒業証書 AM	59
28	11	9	名塩小学校6年生卒業証書 PM	46
29	11	14	東山台小学校卒業証書 AM	60
30	11	14	東山台小学校卒業証書 PM	31
31	11	17	生瀬小学校卒業証書 1組	37
32	11	17	生瀬小学校卒業証書 2組	37
33	12	5	苦楽園小学校3年生	97
34	12	14	山口小学校3年生	68
35	1	9	卒業証書欠席児童	4
36	1	11	名塩小学校4年生	109
37	1	18	名塩小学校5年生	114
38	1	23	生瀬小学校3年生	62
39	1	28	卒業証書欠席児童	2
40	2	7	名塩小学校1年生	91
41	2	20	上ヶ原南小学校3年生	69
42	2	22	北六甲台小学校3年生	82
			合計	2,346

一般団体

番号	月	日	団体名	人数
1	4	11	西宮市研修厚生課	41
2	4	12	西宮市研修厚生課	40
3	4	23	大阪府立港南造形高校クラブ部	29
4	5	14	5月定例紙すき教室	5
5	6	13	生瀬青葉むつみ会	16
6	7	2	ボーイスカウト西宮第20団	17
7	7	7	東山台小学校PTA研修会	13
8	7	9	7月定例紙すき教室	15
9	7	15	きらり塾	15
10	7	27	塩瀬地区教職員研修会	11

番号	月	日	団体名	人数
11	8	5	夏休み親子紙すき教室	23
12	8	13	子供紙すき絵画展	21
13	8	20	阪急交通社（兵庫県阪神南県民センター委託事業）	31
14	8	26	西宮市シルバー人材センター	14
15	9	10	9月定例紙すき教室	7
16	10	11	JA 卒業証書研修	6
17	11	12	11月定例紙すき教室	4
18	12	2	クリスマスカード作り	29
19	2	2	本格紙すきに挑戦1日目	4
20	2	3	本格紙すきに挑戦2日目AM	3
21	2	3	本格紙すきに挑戦2日目PM	3
22	2	4	本格紙すきに挑戦3日目AM	5
23	2	4	本格紙すきに挑戦3日目PM	5
24	2	6	本格紙すきに挑戦4日目	3
25	3	24	春休み親子紙すき教室	5
			合計	365

団体合計：67団体・2,711人

(2) 常設展示

名塩紙の特徴やその歴史を深く理解してもらうため、紙すき道具や製品を展示するとともに、実際に紙をすく様子を撮影したVTRを映写し、観覧者の学習に供した。

常設展示室入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	27	26	26	27	26	26	26	24	23	24	27	308
市内入場者数	27	17	157	5	39	18	1	0	3	9	1	4	281
市外入場者数	30	14	4	18	17	10	4	4	11	6	10	26	154
入場者数合計	57	31	161	23	56	28	5	4	14	15	11	30	435

(3) 臨時開館期間

期間	目的
平成29年5月22日（月）	平成29年度塩瀬中学校トライやるウィーク受け入れのため

(4) 利用料金等

a. 実習費（市外の方は倍額 別途材料費）

10人～16人の団体：2,500円

17人～24人の団体：5,000円

25人～40人の団体：7,500円

b. 施設使用料等

使用区分	実習室	集会室
午前9時～正午	1,000円	1,000円
午後0時30分～5時	1,300円	1,300円

備考

1 使用者が本市住民以外の者である場合の使用料は、この表に規定する額の倍額とする。

2 冷房又は暖房を行う場合にあつては、この表に規定する額の2割に相当する額を加算する。

2. 教育普及

少人数による和紙学習館利用を促進するため、郷土資料館紙すき教室を隔月で実施した。また、名塩紙の理解をより深めるため、原料の調整から紙すきまでの工程全体を学習する実習講座を実施した。

(1) 主催実習事業

参加人数：のべ54人

a. 定例紙すき教室（全4回）

平成29年5月14日（日）、7月9日（日）、9月10日（日）、11月12日（日）

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館・実習室

b. 紙すき教室「本格紙漉きに挑戦！」（全1回）

平成30年2月2日（金）、2月3日（土）、2月4日（日）、2月6日（火）

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館・実習室

(2) 共催実習事業

参加人数：のべ28人

a. 夏休み親子紙すき

平成29年8月5日（土）

b. 春休み親子紙すき

平成30年3月24日（土）

(3) トライやるウィーク

学校：塩瀬中学校2年生

人数：のべ50人

期間：平成29年5月22日（月）～5月26日（金）

実施日時	実施内容（午前）	実施内容（午後）
第1日 平成29年5月22日（月）	ビデオ学習 和紙作品製作①	和紙実習①（原料採集・雁皮みしり）
第2日 平成29年5月23日（火）	和紙実習②（釜たき） 和紙作品製作②	和紙実習③（ちりより・叩解） 和紙作品製作③
第3日 平成29年5月24日（水）	和紙作品製作④（紙すき）	和紙作品製作⑤（紙刷き） 和紙実習④（紙すき）

実施日時	実施内容（午前）	実施内容（午後）
第4日 平成29年5月25日（木）	紙すき指導練習	和紙実習⑤（板おろし） 和紙作品製作⑥
第5日 平成29年5月26日（金）	東山台小学校3年生抄紙助手	和紙の基礎学習 反省会

和紙作品製作：団扇づくり 和紙実習：和紙づくり工程体験

III 西宮市立郷土資料館条例および施行規則

1. 西宮市立郷土資料館条例

(昭和59年12月28日)

(西宮市条例第17号)

沿革

平成12年3月30日 条例59号 [1]

平成13年12月26日 条例20号 [2]

平成26年12月18日 条例28号 [3]

(設置)

第1条 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、もつて市民の教育、文化の向上に資することを目的として、西宮市立郷土資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 資料館は、西宮市川添町15番26号に置く。

(分館) [2]

第2条の2 資料館の分館として名塩和紙学習館（以下「学習館」という。）を置く。[2]

2 学習館は、西宮市名塩2丁目10番8号に置く。[2]

(事業)

第3条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集、保管及び展示並びに和紙実習等に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 博物館、学校その他の関係機関と相互協力を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

[2]

(職員)

第4条 資料館に、館長その他の職員を置く。

(観覧料)

第5条 資料館の観覧料は無料とする。ただし、西宮市教育委員会（以下「委員会」という。）が特に必要と認めるものについては、委員会が定めるところにより、観覧料を徴収することができる。

(使用の許可等) [2]

第6条 別表に掲げる学習館の施設を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。[2]

2 委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、使用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設等を破損し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的とするとき。
- (4) 管理運営上支障があるとき。
- (5) その他委員会が使用を不相当と認めるとき。

[2]

(使用料の納付等) [2]

第7条 前条第1項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、別表に定める使用料を納付しなければならない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。[2]

2 既に納付した使用料は、返還しない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、その全額又は一部を返還すること

ができる。[2]

(実習費の納付等) [3]

第8条 使用者が学習館において、和紙実習の指導を受けるときは、委員会規則で定める実習費を納付しなければならない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、実習費を減額し、又は免除することができる。[3]

(使用許可の取消) [2]

第9条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するとき、第6条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 第6条第2項各号のいずれかに該当するとき。
- (2) この条例又はこの条例に基づく委員会規則に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の行為により許可を受けたとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、公益上委員会が特に必要と認めるとき。

[2] [3]

(使用権の譲渡等の禁止) [2]

第10条 使用者は、学習館の使用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。[2] [3]

(特別利用の許可)

第11条 資料の模写、模造、撮影その他特別利用をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。[2] [3]

(原状回復等) [2]

第12条 資料館の施設等を汚損し、破損し、又は滅失した者は、速やかにこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない事由があると認めるときは、賠償の額を減免することができる。[2] [3]

(入館の制限) [1]

第13条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序、善良な風俗その他公益を害し、又はそのおそれがある者
- (2) 建物、設備、資料等を損傷し、又はそのおそれがある者
- (3) 営利を目的とする行為をし、又はそのおそれがある者
- (4) その他管理上必要な指示に従わない者

[1] [2] [3]

(規則への委任)

第14条 この条例の施行について必要な事項は、委員会規則で定める。[1] [2] [3]

付 則

この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (平成12年3月30日西宮市条例第59号 [1] 西宮市立図書館条例等の一部を改正する条例3条による改正付則)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

付 則 (平成13年12月26日西宮市条例第20号 [2])

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月18日西宮市条例第28号 [3])

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

別表 (第6条、第7条関係)

[2] [3]

学習館使用料

区分		午前9時から正午まで	午後0時30分から午後5時まで
施	実習室	1,000円	1,300円
設	集会室	1,000円	1,300円

備考

- 1 使用者が本市住民以外の者である場合の使用料は、この表に規定する額の倍額とする。
- 2 冷房又は暖房を行う場合にあつては、この表に規定する額の2割に相当する額を加算する。

2. 西宮市立郷土資料館条例施行規則

(昭和60年3月25日)

(西宮市教育委員会規則第11号)

沿革

平成14年2月12日 西教委規則16号 [1]

平成27年2月4日 西教委規則13号 [2]

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。)の施行について別に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(観覧料)

第2条 条例第5条に規定する観覧料については、教育長が定める。

(学習館の施設)

第3条 条例第6条第1項に定める名塩和紙学習館(以下「学習館」という。)の使用内容及び使用人数は、別表第1のとおりとする。

[2]

(特別利用)

第4条 資料の模写、模造、撮影等館内において特別利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、条例第11条の規定により、特別利用許可申請書を西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)に提出しなければならない。[1] [2]

2 委員会が特別利用を許可したときは、特別利用許可書を交付する。

3 特別利用は、所定の場所において館長の指示に従って行わなければならない。

4 委員会は、第2項の許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

(館外貸出し)

第5条 資料の館外貸出しは、他の資料館、博物館、学校その他委員会が適当と認めるもののほか、受けることができない。[2]

2 資料の館外貸出しを受けようとするものは、条例第11条の規定により館外貸出許可申請書を委員会に提出しなければならない。[1] [2]

[2]

3 委員会が資料の館外貸出しを許可したときは、館外貸出許可書を交付する。

4 資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が認めたときは、この限りではない。[2]

5 委員会は、第3項の許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

(学習館の使用許可申請) [1]

第6条 条例第6条第1項の規定により学習館の施設を使用しようとする者は、学習館使用許可申請書(以下「申請書」という。)を委員会に提出しなければならない。[1] [2]

(学習館の使用許可) [1]

第7条 委員会は、学習館の使用を許可したときは、学習館使用許可書(以下「許可書」という。)を交付する。[1] [2]

(学習館の許可書の提示) [1]

第8条 使用者は、学習館を使用するときは、許可書を館長に提示し、その指示を受けなければならない。[1] [2]

(実習費) [2]

第9条 条例第8条の実習費は、別表第2のとおりとする。[2]

(特別利用等の制限)

第10条 つぎの各号の一に該当するときは、特別利用および館外貸出しを許可しない。

(1) 現に資料が展示されているとき。

(2) 特別利用または館外貸出しにより資料の保存に影響があるとき。

(3) 著作権者のある資料で、著作権者の同意を得ていないとき。

(4) 寄託された資料で、寄託者の同意を得ていないとき。

(5) その他委員会が、不適当と認めたとき。

[1] [2]

(特別利用の取消し等)

第 11 条 委員会は、特別利用または館外貸出しの許可を受けたものが、許可の条件に違反したときもしくはそのおそれがあるときまたは館の運営上必要があると認めるときは、特別利用または館外貸出しの許可を取消し、停止し、または資料の返還を命じることができる。[1] [2]

(資料の寄贈および寄託)

第 12 条 資料を寄贈または寄託しようとする者は、委員会に申出なければならない。[1] [2]

2 委員会は、館の運営上必要があると認めるときは、前項の申出を受けることができる。

3 受託期間は、1年以上とする。

4 受託資料は、特別の契約がある場合のほか、市所有のものと同様の取扱いをする。

(学習館使用料の減免申請) [1]

第 13 条 条例第 7 条第 1 項ただし書の規定により、学習館の使用料の減額又は免除を受けようとする者は、申請書にその旨を記載し、委員会の承認を受けなければならない。[1] [2]

(学習館冷暖房費の減免) [1] [2]

第 14 条 前条の規定により学習館の使用料の減額又は免除を受けた使用者については、条例別表備考 2 に規定する加算額を減額し、又は免除する。[1] [2]

(学習館実習費の減免)

第 15 条 第 13 条の規定により使用料の減額又は免除の承認を受けた使用者は、実習費を減額し、又は免除する。[2]

(休館日及び開館時間) [1]

第 16 条 資料館の休館日及び開館時間は、別表第 3 のとおりとする。[1] [2]

2 前項の規定にかかわらず、委員会が特に必要と認めるときは、休館日及び開館時間を変更することができる。[1] [2]

(委任)

第 17 条 この規則に定める申請書その他の書類の様式およびこの規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。[1] [2]

付 則

この規則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 14 年 2 月 12 日西教委規則第 16 号 [1])

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 27 年 2 月 4 日西教委規則第 13 号 [2])

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 3 条関係)

[1] [2]

区分	使用内容	使用人数
実習室	和紙実習等	10 人以上 40 人以内
集会室	和紙の学習又は名塩紙の愛護啓発事業等	10 人以上 150 人以内

別表第 2 (第 9 条関係)

[2]

使用人数	実習費
10 人から 16 人まで	2,500 円
17 人から 24 人まで	5,000 円
25 人から 40 人まで	7,500 円

備考 使用者が本市住民以外の者である場合の実習費は、この表に規定する額の倍額とする。

別表第3（第16条関係）

[1] [2]

施設名	休館日	開館時間
資料館（学習館を除く。）	西宮市教育文化センター管理規則（昭和59年西宮市教育委員会規則第9号）に定めるところによる。	西宮市教育文化センター管理規則に定めるところによる。
学習館	1. 月曜日 2. 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで	午前9時から午後5時まで。 ただし、入館は午後4時まで

3. 西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館管理運営要綱

(趣旨)

第1条 本要綱は、西宮市立郷土資料館条例（昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。）及び西宮市立郷土資料館条例施行規則（昭和60年西宮市教育委員会規則第11号。以下「規則」という。）に基づき、西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館（以下「学習館」という。）を社会教育施設として広く市民の利用に供するために必要な事項を定める。

(施設等の定義)

第2条 施設とは、規則別表第1のほか、学習館に備付けの備品をいう。

(使用制限)

第3条 条例第6条第2項に該当するほか、次の各号に該当するときは使用を許可しない。

- (1) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第23条にある行為に該当するとき。
- (2) 使用人数が規則別表第1と相違するとき。
- (3) 学校園の和紙実習にあつては、1回に行う実習の人数が41人以上のとき。
- (4) 飲酒・飲食を主たる目的とするとき。
- (5) 小学生以下の者だけの使用で、保護者等の同意書又は付添いのないとき。
- (6) 近隣に迷惑が及ぶおそれがあるとき。
- (7) その他、教育委員会が使用を不相当と認めるとき。

(使用受付の時期等)

第4条 規則第6条に基づく使用許可申請の受付は、使用しようとする日の1月前の同日までに行うものとする。

2 使用許可の決定は、紙すき実習指導及び和紙に関する学習等の施設使用の許可決定の後に、その他の施設使用の許可の決定を行う。

(使用許可内容の変更)

第5条 条例第6条にいう使用許可内容の変更が可能な期間は、使用許可書の交付があつた日から使用日の20日前までとする。

(冷暖房の期間)

第6条 冷暖房器の使用期間は原則として、暖房器は1月から6月まで及び10月から12月までとし、冷房器は7月から9月までとする。

(使用料・冷暖房費の納付)

第7条 条例第7条第1項の規定による使用料及び、条例別表備考の冷暖房費の納付は、市が指定する金融機関で、金融機関の営業日で使用日の10日前までに行うものとする。

2 使用者は、使用当日に納付を証する書類、又はその写しを和紙学習館窓口で提示する。

3 すでに納付した使用料及び弁償金は、返還しない。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）において特別の理由があると認めるときは、その一部又は全額を返還することができる。

(使用料及び冷暖房費の減額または免除の率)

第8条 規則第13条及び第14条により使用料及び冷暖房費の減免申請があつた場合には、以下の区分及び率により行う。

- (1) 市、委員会又は西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館紙すき推進委員会（以下「推進委員会」という。）が主催する行事に使用するとき 10割
- (2) 市内に在住、在学又は在園する生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が土曜日を除く平日に使用するとき 10割
- (3) (2)に該当する団体が土曜日及び、平日以外に使用するとき 5割
- (4) 市内に在住、在学又は在園しない生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が土曜日を除く平日に使用するとき 5割
- (5) (4)に該当する団体が土曜日及び、平日以外に使用するとき 3割
- (6) 身体障害者手帳、療育手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者が半数以上を占める団体が使用するとき 10割
- (7) その他委員会が特別の理由があると認めるとき 委員会が相当と認める率

(実習指導と実習費の納付)

第9条 実習室の利用者は、和紙学習館職員等の指示のもと和紙実習を行う。

2 実習室の利用者は、規則第9条に定める額を使用料等と同じ方法で、同じ時期までに納付しなければならない。

(実習費の減額及び免除)

第10条 規則第15条による実習費の減免は、本要綱第8条の区分及び率により行う。

(使用料、冷暖房費及び実習費の還付)

第11条 本要綱第7条第3項による使用料、冷暖房費及び実習費の還付は、次の各号に掲げる区分及び比率による。

- (1) 使用者の責に帰することができない理由により使用できなくなったとき 10割
- (2) その他委員会において特別の理由があると認めるとき 委員会が相当と認める率

(使用料、冷暖房費及び実習費の還付申請)

第12条 使用料、冷暖房費及び実習費の還付を受けようとする者は、学習館過誤納還付申請書を委員会に提出しなければならない。

(使用許可申請書等の様式)

第13条 規則第6条、規則第7条及び本要綱第12条に規定する様式の記載事項は、別表のとおりとする。

(推進委員会への委託)

第14条 学習館の和紙実習及び和紙に関する学習を円滑に行うため、業務の一部を、推進委員会に委託する。

(推進委員会規約)

第15条 推進委員会は、次に掲げる項目について規約を定め、委員会に報告しなければならない。

- (1) 設置目的及び事業内容
- (2) 設置場所
- (3) 役員、職員に関すること
- (4) 実習指導員、実習準指導員及び助手に関すること
- (5) 推進委員会の会議運営に関すること
- (6) 会計及び監査に関すること
- (7) 規約の改正に関すること
- (8) その他細目に関すること

(和紙実習の指導等)

第16条 推進委員会は、和紙実習を円滑に行うため、実習指導員等及び助手を適切に配置するものとする。

2 前項により、推進委員会が実習指導等を行ったときは、委員会は推進委員会委員長の報告に基づき、指導員等および助手に対して報償費を翌月に支払う。

(委任)

第17条 本要綱の施行についての必要な事項は、教育長が定める。

付 則

本要綱は、平成27年4月1日に一部を改正し施行する。

別表

書類名	記載内容	条項
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可申請書	受付番号 申請日 使用者名 使用者住所 連絡先電話番号 担当者名 使用内容 使用者内訳 使用希望施設 使用年月日 使用時間 使用人数 実習指導の有無 減免申請 学校にあっては使用内容と使用方法 減免の内容	規則第6条
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可申請書(変更)	受付番号 申請日 使用者名 使用者住所 連絡先電話番号 担当者名 使用内容 変更申請の理由 使用者内訳 使用希望施設 使用年月日 使用時間 使用人数 実習指導の有無 減免申請 学校にあっては使用内容と使用方法 減免の内容	規則第6条
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可書	許可年月日 使用許可者 許可内容 (使用者 使用施設 使用年月日 使用時間 使用人数) 使用料等の納付額と減免内容、減免理由及び減免額	規則第7条
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可書(変更)	許可年月日 使用許可者 許可内容 (使用者 使用施設 変更の内容 許可の理由 使用年月日 使用時間 使用人数) 使用料等の納付額と減免内容、減免理由及び減免額	規則第7条

市立郷土資料館分館名塩和紙学習館 過誤納還付申請書	申請日 還付申請者の住所、氏名及び連絡先 還付請求者の住所及び氏名 還付申請額 使用取消日時 使用取消施設 使用許可日 許可番号 領収（収納）日 納付金の既納額及び明細 還付申請額及び明細 還付理由 還付率 【添付】使用許可者 納入通知書兼領収証書の写し 還付請求書（請求書 口座振替申込書 委任状）	要綱 12 条
------------------------------	---	------------

- 1 団体利用者にあつては、使用者名は団体代表者名 住所は団体事務所の所在地を記す。
- 2 規則とは「西宮市立郷土資料館条例施行規則」、要綱とは「西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館管理運営要綱」の略称とする。

4. 西宮市教育文化センター管理規則

(昭和60年3月25日)
(西宮市教育委員会規則第9号)

沿革

- 昭和63年7月25日 西教委規則5号 [1]
- 平成4年7月16日 西教委規則3号 [2]
- 平成11年5月11日 西教委規則3号 [3]
- 平成12年3月31日 西教委規則19号 [4]
- 平成13年4月10日 西教委規則2号 [5]
- 平成16年1月14日 西教委規則8号 [6]
- 平成18年3月8日 西教委規則12号 [7]
- 平成19年3月14日 西教委規則15号 [8]
- 平成21年3月11日 西教委規則13号 [9]

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立図書館条例(昭和36年西宮市条例第3号)により設置された西宮市立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号)により設置された西宮市立郷土資料館(以下「資料館」という。)の管理に関して、別に定めるもののほか、必要な事項を定める。[5] [9]

(教育文化センター)

第2条 この規則においては、中央図書館及び資料館により構成される施設を総称して、西宮市教育文化センター(以下「センター」という。)という。[9]

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第10号)に定めるところによる。
- (2) 資料館 午前10時から午後5時まで。ただし、入館は午後4時30分まで

[1] [3] [7] [8] [9]

2 前項の規定にかかわらず、西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。[5] [8]

(休館日)

第4条 休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は変更することができる。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則に定めるところによる。

- (2) 資料館

ア 毎週月曜日

イ 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで

[1] [2] [5] [6] [8] [9]

(遵守事項)

第5条 センターに入館した者は、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 他人に危害をおよぼし、または迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 資料、展示品等を損傷し、汚損し、または滅失しないこと。
- (3) センターの管理上支障となる行為をしないこと。

[4]

2 資料館に入館した者は、前項に掲げるもののほか、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示品の近くでインク、墨等を使用しないこと。
- (2) 特に指定したものを除き、展示品に触れないこと。
- (3) 委員会の許可を受けずに資料及び展示品の模造、模写、撮影等を行わないこと。

[9]

(原状回復等)

第6条 センターの施設、設備または資料、展示品を損傷し、または滅失した者は、それを原状に復し、または委員会が相当と認める損害額を賠償しなければならない。[4]

(教育長への委任)

第7条 この規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。[4]

付 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (昭和63年7月25日西教委規則第5号 [1])

この規則は、昭和63年9月1日から施行する。

付 則 (平成4年7月16日西教委規則第3号 [2])

この規則は、平成4年8月1日から施行する。

付 則 (平成11年5月11日西教委規則第3号 [3])

この規則は、平成11年6月1日から施行する。

付 則 (平成12年3月31日西教委規則第19号 [4])

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

付 則 (平成13年4月10日西教委規則第2号 [5])

この規則は、平成13年4月20日から施行する。

付 則 (平成16年1月14日西教委規則第8号 [6])

この規則は、平成16年2月1日から施行する。

付 則 (平成18年3月8日西教委規則第12号 [7])

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

付 則 (平成19年3月14日西教委規則第15号 [8] 西宮市立図書館条例施行規則及び西宮市教育文化センター管理規則の一部を改正する規則2条による改正付則)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

付 則 (平成21年3月11日西教委規則第13号 [9])

(施行期日)

第1条 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

(西宮市立市民ギャラリー管理運営規則の廃止)

第2条 西宮市立市民ギャラリー管理運営規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第3号)は、廃止する。

西宮市立郷土資料館報 平成 29 年度 (2017)

編集・発行 西宮市立郷土資料館

兵庫県西宮市川添町 15 番 26 号

郵便番号 : 662-0944

電話 : 0798-33-1298

internet pages : <http://www.nishi.or.jp>

発行年月日 平成 30 年 (2018 年) 9 月 30 日